

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

平昌大会 事前調査 報告書

【調査概要】

日時 : 2017 (平成 29) 年 9 月 14 日 (木) ～9 月 16 日 (土)

調査地 : 大韓民国 ソウル市, 平昌, 全羅南道

実施者 : 主任研究員 青木彩菜, 研究員 岡田悠佑

目的 : 2018 年平昌オリンピック・パラリンピック大会 (以下, 「平昌大会」) に向けた韓国におけるオリンピック・パラリンピック教育 (以下, 「オリ・パラ教育」) の取り組みの実態を明らかにし, 今後の日本のオリ・パラ教育の展開の方向性を探ること

スケジュール :

日付	2017.9.14	2017.9.15	2017.9.16
AM	移動	移動	移動
PM	インタビュー①Youngjin Choi 氏 (平昌大会組織委員会 Education Team リーダー) 実践①ソウル市 公立清潭中学校(Cheongdam Middle School)	実践②全羅南道靈光郡 公立白岫中学校(Beaksu Middle School) インタビュー②公立白岫中学校生徒(3 名) インタビュー③Arram Kim 氏 (平昌大会組織委員会 Education Team プロジェクトマネージャー)	施設視察①ソウル市 Seoul Olympic Museum

1 日目は平昌大会組織委員会とソウル市にある公立清潭中学校を訪問しました。平昌大会組織委員会では, Education Team のリーダーを務める Youngjin Choi 氏への韓国におけるオリ・パラ教育プログラムの概要や現状についてのインタビューを実施しました。3 年前から始められた平昌大会組織委員会による学校でのオリ・パラ教育は, 2015 年度に 4 校, 2016 年度に 20 校で行われ, 今年度は 180 校での実施を予定しているということでした。また, ソウル市にある公立清潭中学校では, カーリングの元韓国代表監督で同校勤務の体育教員 Choi Jeachun 氏によるオリ・パラ教育の実践授業を参観しました。冬季スポーツに親しみのない生徒たちに対して少しでも関心をもってもらうために, 大きなスクリーンを使ってルール of 解説を行った後に, 実技の指導が行われました。



平昌大会組織委員会 入口



Youngjin Choi 氏



カーリングの授業の様子

2 日目は、韓国南部の全羅南道靈光郡にある公立白岫中学校を訪問しました。全校生徒 30 人ほどの中学校でしたが、人工芝のグラウンドなどの体育施設が充実していました。授業では、平昌大会組織委員会の Education Team のプロジェクトマネージャーを務める Arram Kim 氏らによるオリ・パラ教育が行われました。オリンピック・パラリンピックの価値や冬季スポーツについて、さらにはスポーツに関連する仕事などについての講義中心の実践授業でした。初めて冬季スポーツを見る生徒もいるようで、とても集中して講義を聴くとともに積極的に手を挙げて質問に答えていました。また、同校の教員も組織委員会スタッフにとっても協力的で、一緒に授業を盛り上げていました。他方で Arram Kim 氏の話では、韓国全土の 180 校の学校を 3 人の担当で回らなければならず、オリ・パラ教育実施上の苦労は多いとのことでした。



人工芝のグラウンド



授業の様子



聖火リレーのトーチに興味津々の生徒

3 日目は、ソウル市内にある Seoul Olympic Museum を訪問しました。1988 年のソウルオリンピックを記念して建てられた施設で、オリンピック・パラリンピックの歴史、ソウルオリンピックの招致から開催に至る経緯、さらには韓国におけるソウルオリンピックの影響などが紹介されていました。また、児童・生徒用の学習室も設置されており、施設を利用した学習が行われているとのことでした。



Seoul Olympic Museum 内部



学習室①



学習室②

これらの訪問先以外でも、金浦空港に平昌オリ・パラのブースが設けられていたり、ソウル駅前にある巨大スクリーンに平昌大会で実施される種目を紹介するカラフルな映像が流されていたりしました。

今回の訪問を通して、韓国全体で平昌大会を盛り上げていこうという雰囲気が伝わってきました。インタビュー調査や授業実践の詳細を踏まえた日本のオリ・パラ教育への示唆に関しては、改めて年度末の報告書等で紹介していきたいと思います。



金浦空港の平昌オリ・パラブース



ソウル駅前の映像（スキージャンプ）